



## 6月の園だより



令和4年6月1日  
鶴来第一幼稚園  
園長 大角 智恵美

今日から6月。そろそろ雨の季節となります。しとしと降る雨は、窓から眺めていても心地よく、気持ちまで潤してくれるように感じます。幼稚園に向かう途中の道ではアジサイが咲き始めていました。アジサイは鶴来町だったころの町の花らしく、大きな通り、クレインや児童館の周りなどあちこちで見かけます。どんな色の花が咲いているかお散歩しながら探したいと思います。石川県の梅雨入りはいつ頃になるのでしょうか？大地を潤し植物を生長させる雨は、子どもたちにとっても、晴れの日とは違った感性を育ててくれる雨となります。暑い夏を迎える前に、この時季ならではの遊びをたっぷりと楽しみたいと思います。今月もどうぞよろしくお願ひいたします。



## 6月のねらい



大きい子たちは畑で、年少さんはプール前の花壇で、小さい子たちはお部屋の前のプランターで野菜を育てています。5月の連休明けに植えた苗もすっかり大きく成長し、小さなキュウリやお豆の房を見つかるようになりました。カボチャやメロンの花も咲いています。年中さんは一昨日金時草を、今日はラディッシュを収穫し、給食さんに調理してもらって味わいました。水やりや観察を通して、食への関心につなげていきたいと思います。

**つくし** 低月齢○保育者に親しみ、安定感をもって過ごす。

○食事や午睡などの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生える。

高月齢○十分に体を動かすことを楽しむ。

○身近な自然物や事象に興味や関心を持ち、しぐさや言葉で表そうとする。

**なのはな** ○手洗いや着替えを自分でしようとする。

○保護者や友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。

○梅雨時期の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。

**年少** ○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

○保育者や友達と一緒にしたい遊びを十分に楽しむ。

○水に触れ心地よさを感じ、梅雨期ならではの自然に親しみをもつ。

**年中** ○梅雨時期の生活の仕方を知り、保育者に見守られながら快適に過ごす。

○様々な友達と関わりながら、遊ぶ楽しさを味わう。

○梅雨の自然事象に興味を持ち、見たり触れたりして楽しむ。

**年長** ○梅雨期の自然や身近な生き物に興味や関心を持ち、生活や遊びに取り入れようとする。

○自分の思いや考えを伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

○身近な素材や用具などを使って、試したり工夫したりしながら遊ぶ楽しさを味わう。

## ○資源回収のお知らせ

本年度も園児に循環型社会の仕組みや物を大切にすることを目的に「親子での資源回収」を実施します。これによる収益金は幼稚園生活が充実して過ごせるよう図書や備品の購入などに充たしたいと考えています。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

**実施日** 6月20日(月)～25日(土)

**回収時間** 午前8時～10時、午後2時30分～4時(25日のみ午前8時～12時)

**回収場所** バス車庫

**回収品** 古新聞(2円/kg)、古雑誌(2円/kg)、段ボール(2円/kg)、牛乳パック(3円/kg)

※お願い ・ご近所(2～3件程度)への周知として、別紙の配布をお願いいたします。回収に知事は各自でご記入ください。

・古新聞と広告雑誌は分けて、しっかり紙紐で縛ってください。

・バス車庫にコーナーを設けますので、お子さんと一緒に持ってきてください。

・バス通園の方はバスに乗せていただいてもかまいません。

○28日(火)に歯科検診があります。年少以上のお子さんは、当日は名前を書いた歯ブラシを持たせてください。

※一身上の都合により、西山教諭は4月末で退職されました。また、中川教諭は6月より第二幼稚園勤務となります。在職中は保護者のみなさまには大変お世話になり、ありがとうございました。



先日は保育参観にお越しいただき、また、たくさんの感想をお寄せいただきありがとうございました。(つくし組さんは延期となり大変申し訳ありませんでした。)お子さんの園での様子を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。さて、子どもたちの成長を見る視点として、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」というものがあります。これは、文部科学省が告示する幼稚園教育要領の中に載っていますが到達目標ではなく、小学校教育との円滑な接続を図り、発達や学びの連続性を確保するためのものです。

「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」

①健康なところからだ ②自立心 ③共同性 ④道徳性・規範意識の芽生え

⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

この中から今回は②自立心を取り上げます。自立心で大事な視点は、「しなければならぬことを自覚する」「諦めずにやり遂げることで達成感を味わう」「自信をもって行動できるようになる」です。これらの姿は5歳児後半で急に見られるようになるわけではありません。衣服の着脱や持ち物の整理、片付けなどの生活習慣の確立の過程で自立心は芽生えてきます。生活や遊びの中でいろいろなことに挑戦し、うまくできなくても繰り返し取り組み、やり遂げて、満足感や達成感を味わう体験をたくさんして欲しいと思います。